

新しい東北

ミーティング
in 神戸



日時：平成 27 年 5 月 30 日（土）

13:00～18:30（12:30開場）

**会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸
（KIITO） [兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4]**

KIITOホール、ギャラリーA、ギャラリーB

主催：「新しい東北」官民連携推進協議会（事務局：復興庁）

協力：兵庫県、神戸市、公益社団法人 関西経済連合会、一般社団法人 関西経済同友会、神戸商工会議所、
一般社団法人 神戸経済同友会、公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構、
公益財団法人 トヨタ財団、特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所

東日本大震災から4年——復興の状況は大きく変化しています。

今回は、阪神・淡路大震災から20年を迎えた神戸で、東北の「今」をお伝えします。

「新しい東北」ミーティング in 神戸 2つのテーマ

1 東北の「今」を知る

2 「新たなつながり」をつくる

ポイント

1

様々な角度から
東北の「今」
が見える！

被災地の自治体や被災地で新しい取組を行っている団体、復興支援を行っている企業の方など、多様な方にご自身の活動を報告していただけます。
リレートークやブース・パネル・映像での紹介など、様々な形で取組をご紹介します！

ポイント

2

「新たなつながり」
を作るチャンス
がいっぱい！

大交流会や「新しい東北」つながる懇親会で、多様な出展者や出席者の皆様と自由に交流いただけます。
パネルディスカッションや講演・意見交換では、阪神・淡路大震災の被災地のノウハウをお伝えします。東北の活動につながるヒントが得られるかもしれません。

▼タイムテーブル

	KIITOホール	KIITOホール・ギャラリーA	ギャラリーB
13:00	オープニング・講演 13:00-13:40	ブース展示・パネル展示 12:30-17:00	
14:00	リレートーク 13:40-14:20		
15:00	大交流会 14:20-15:20		
16:00	パネルディスカッション ～ これからの復興とコミュニティの再生 ～ 15:30-16:45		ボランティア・ワールドカフェ ～ 東北と関西の架け橋 ～ 15:30-17:00
17:00	講演・意見交換 ～ 災害からの地域産業復興 ～ 16:55-17:25		
18:00			「新しい東北」つながる 懇親会 17:30-18:30

▼会場全体図

【ご注意事項・ご案内】

- ※ ご来場時は「総合受付」にお越しください。
- ※ アンケートをお配りしています。ご協力をお願いします。
- ※ クロークはご用意しておりません。
- ※ 貴重品管理は各自をお願いします。
- ※ ゴミ箱はありません。各自でお持ち帰りください。
- ※ 喫煙スペースは屋外にあります。
- ※ 会場内を撮影した映像・写真は公開される可能性があります。
- ※ 本会合はマスコミオープンとなります。

«KIITO 1F»



13:00-13:20 オープニング

- 復興庁幹部による挨拶（竹下復興大臣）
- 来賓による挨拶（井戸兵庫県知事、久元神戸市長）

13:20-13:40 復興の現状等についての講演

- 復興庁による復興の現状・課題に関する説明（岡本復興庁事務次官）

13:40-14:20 リレートーク

- 被災地の自治体、被災地で新しい取組を行っている団体、復興支援を行っている団体による活動紹介（発表時間：1団体あたり約2分を予定）

参加団体

岩手県／宮城県／福島県／福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会／岩手県大船渡市／宮城県亘理町／宮城県涌谷町／福島県川内村／東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター／日本百貨店協会／文化芸術による復興推進コンソーシアム／東北わくわくマルシェ×甲南女子大学×大阪ガス／積水ハウス株式会社／ラジオ関西／株式会社日本政策投資銀行／株式会社みずほ銀行／サントリー／（公財）兵庫県住宅再建共済基金／神戸防災技術者の会（K-TEC）／兵庫県立大学／神戸学院大学／立命館災害復興支援室／兵庫県立舞子高等学校環境防災科

15:30-16:45 パネルディスカッション

～ これからの復興とコミュニティの再生 ～

- 東日本大震災、阪神・淡路大震災の被災地でコミュニティ形成に取り組む方々に、阪神・淡路大震災の被災地のノウハウをいかに東北につなげるか、幅広くご議論いただきます。

ファシリテーター



田村 太郎 氏
復興庁 復興推進参事

パネリスト



本多 史郎 氏
公益財団法人トヨタ財団
プログラム・オフィサー



佐藤 俊一 氏
特定非営利活動法人
美しい街住まい倶楽部
理事長



小林 郁雄 氏
特定非営利活動法人
神戸まちづくり研究所
理事長



倉田 明 氏
なぎさふれあいの
まちづくり協議会
委員長

16:55-17:25 講演・意見交換 ～ 災害からの地域産業復興 ～

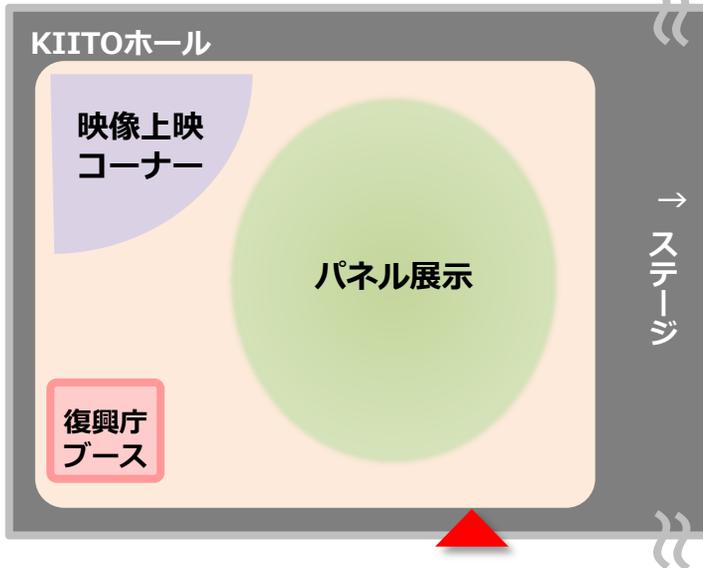
- 市民の生活を支えるためには、地域を支える産業の復興が必要不可欠です。阪神・淡路大震災からの復興行政に関わった神戸市職員OBである三谷陽造氏から、神戸市における地域経済の復興と活性化について、経験と教訓を講演いただくとともに、会場にお越しの皆様と意見交換を行います。

発表者：三谷陽造 氏（公益財団法人 神戸市産業振興財団 総務部参事）

パネル展示 «KIITOホール»

※ 都合により当日変更になる可能性があります。

被災地の復興の現状や復興庁の取組、東北の被災地で取り組まれている「新たな挑戦」、新たなビジネス、民間企業の復興支援活動など、様々な取組をご紹介します。（50音順）



被災地の現状・復興庁関係事業の紹介

- ・ 被災地の産業復興の現状
- ・ 復興関係の産業施策（津波立地補助金等）
- ・ 復興庁企業連携推進室のこれまでの取組
- ・ WORK FOR 東北 など

自治体・大学・民間企業等による支援活動

- ・ イトーヨーカ堂
- ・ 福島大学
- ・ 東北大学
- ・ 富士通
- ・ 農林中央金庫
- ・ ユカクッキングスタジオ
- ・ 兵庫県

被災地の「新たな挑戦」

- ・ 特定非営利活動法人アイ・キャン
- ・ アクセンチュア株式会社、コイニー株式会社、会津若松スマートシティ推進協議会
- ・ 生きるカ市民運動化プロジェクト
- ・ 石巻水産復興会議、株式会社JEMCO日本経営、石巻販路開拓支援センター等
- ・ 一般社団法人ISHINOMAKI2.0
- ・ いわて復興ツーリズム推進協議会
- ・ 気仙沼の魚を学校給食に普及させる会
- ・ 郡山ブランド野菜協議会
- ・ コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会
- ・ 特定非営利活動法人スマイルスタイル
- ・ 地域資源利活用推進協議会
- ・ 地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある東北創造プロジェクト
- ・ 特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会
- ・ 株式会社テレビユー福島・株式会社MTS&P・株式会社いちい・株式会社NTT東日本福島・ヤマト運輸株式会社 他
- ・ 東京大学高齢社会総合研究機構
- ・ 東西しらかわ農業協同組合
- ・ 東北花き園芸復興協議会
- ・ 東北グリーン復興事業者パートナーシップ
- ・ 公益社団法人日本栄養士会
- ・ 日本百貨店協会
- ・ 福島県観光二次交通連絡協議会
- ・ 福島県CLT推進協議会
- ・ ふるさと豊間復興協議会：特定非営利活動法人美しい街住まい倶楽部
- ・ 変幻自在 合同会社
- ・ 特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク/一般社団法人 日本公園緑地協会
- ・ 特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
- ・ 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック石巻

被災地での新たなビジネス展開

- ・ 株式会社磐城高箸
- ・ 梅村マルティナ気仙沼 F S アトリエ株式会社
- ・ 桃浦かき生産者合同会社
- ・ 企業組合八幡平地熱活用プロジェクト
- ・ みらい食の研究所
- ・ 株式会社幸呼来 Japan
- ・ 島津麴店
- ・ 南三陸復興ダコの会
- ・ ヤグチ電子工業Radiation-Watch.org
- ・ 自然食品ばんだい

映像上映コーナー «KIITOホール»

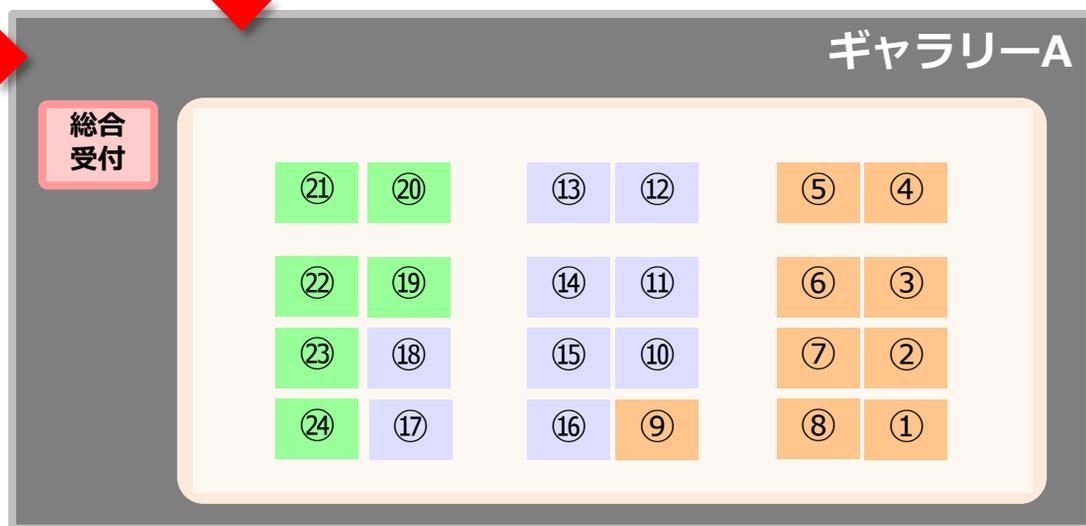
会員団体の取組を、映像でご紹介させていただきます。

ブース出展 《ギャラリーA》

ステージ (KIITOホール) での
リレートークにも登壇します!

13:40-14:20

東日本大震災の被災地での自治体、大学等、復興支援活動を行っている
団体・企業、関西の自治体・大学・高校の取組をブースにてご紹介します。



東日本大震災 被災地での取組

① 福島復興ソーラー・アグリ体験
交流の会

高校生が伝える ふくしま食べる通信

原点は、ひとりの女子高生生の「大好きな福島に対する風評被害を払拭したい」という想いです。彼女の強い志は仲間や応援する大人を巻きこみ、時間をかけて議論をした手段が、この食材付き情報誌「高校生が伝えるふくしま食べる通信」でした。

② 福島県

福島県

県の復興に向けた取組や県内自治体、JR各社、観光関係者が一体となって取り組む大型観光企画「ふくしまステーションキャンペーン (DC) (開催期間: H27.4.1~H27.6.30)」、県産農林水産物の安全・安心に関する取組を紹介しします。

③ 福島県川内村

福島県川内村

川内村の観光案内と原子力発電所事故後の全村避難からの経緯を紹介しております。

④ 岩手県大船渡市

ともに創る 三陸の地に輝き 躍動するまち 大船渡

岩手県沿岸南部の街、大船渡市です。当市では27年度中に災害公営住宅、防災集団移転事業の約8割が完了する見込みなど、着実に復興が進んでいます。一方、①移転先でのコミュニティ形成、②復興後の新産業創出が課題です。

⑤ 岩手県

がんばろう! 岩手

岩手県の復興の現状を知っていただくための資料を展示いたします。復興に向け一歩ずつ前進している岩手県を是非ご支援ください。

⑥ 宮城県涌谷町

生業によるまちづくり

2012年3月に策定した「復興まちづくりマスタープラン」により生業を活かした健康まちづくりを進める涌谷町の取り組みを紹介しします。

⑦ 宮城県亘理町

光と緑に輝く町 宮城県亘理町

東日本大震災の発災直後から、国内外の多くの皆さまに、ご支援をいただいております。震災から4年の月日が流れた今、津波で大きな被害を受けた「宮城県亘理町」の復興情報をお伝えしたいと思っております。

⑧ 宮城県

宮城県

宮城県では、復興の実現に向けて着実に歩みを進めています。今まさに本格化している復興の状況や見所あふれる観光情報を御紹介しします。

⑨ 東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター

震災復興と地域企業の イノベーション

東北大学地域イノベーション研究センターが震災からの地域産業の復興のために取り組んできた、被災地の政策や課題解決に関する調査研究と地域企業の幹部や次世代経営者を対象にした革新的プロデューサー育成事業の成果と実践についてご紹介しします。

団体・企業による復興支援活動

⑩ 株式会社みずほ銀行

みずほフィナンシャルグループによる復興支援活動

みずほフィナンシャルグループが、震災直後から被災地で取り組んできた様々な復興支援活動について、ご紹介いたします。

⑪ 株式会社日本政策投資銀行

震災復興への日本政策投資銀行(DBJ)の取り組み

震災復興ファンド等による資金ニーズへの対応、地域資源を活用した観光と食のコラボレーション創出や日本酒の消費拡大に向けた仕掛け作りなど支援先企業の価値向上への取り組み等、DBJの創造的復興に向けた取組をご紹介します。

⑫ 文化芸術による復興推進コンソーシアム

文化芸術を復興の力に

東日本大震災の被災地の復興のために、活動の分野や立場を超えて、中長期にわたって文化芸術による「心の復興」につながる取組を推進しています。「つどう」「つなく」「つたえる」「しらべる」「つづける」をキーワードとして、被災地における文化芸術による復興推進活動をブースで紹介いたします。

⑬ 株式会社ラジオ関西

ラジオ関西の防災への取組についてご紹介いたします。

2011年に南三陸町で臨時災害放送局開設のお手伝いをさせていただいた際の記録や、ラジオ関西の移動用放送局「マルチラジオカー」を映像ご覧ください。

⑭ 日本百貨店協会

百貨店発！「東北百貨店推奨ブランド」育成プロジェクト

日本百貨店協会では、被災地の販路拡大を目的に、東北の10百貨店が企業の枠を越え、力を合わせて、各社のバイヤーがお奨めする東北の銘品を一堂に集めた「東北発！百貨店推奨ブランドカタログ」を作成いたしました。

⑮ 株式会社デサント

カラダを動かす楽しさを被災地へお届け

避難生活をされている方々に体を動かす楽しさを提供して参りました。参加された皆様から「久しぶり思いっきり笑った」「震災後、初めて気持ちよく体を動かした」など、お喜びの声をたくさん頂戴し、逆に私たちが元気になりました。

⑯ 積水ハウス株式会社

「防災未来工場化計画」

宮城県色麻町と防災協定を締結。当社の東北工場を災害時の避難所として活用いただき、防災備蓄品も確保することで、地域全体の被災者支援拠点として機能させる。非常時にも役立つスマートエネルギーシステムも構築し、避難所の生活を支える。

⑰ サントリーホールディングス株式会社

東北サンさんプロジェクト

- ① 漁業の復興支援：漁船取得や漁具・漁業関連施設の復旧に活用、被災した水産高校の生徒への奨学金給付
- ② 未来を担う子どもたちの支援：奨学金給付・NPO助成などの経済的支援と、学童保育・子どもセンターなどの安心して学び遊べる場所づくりなど
- ③ チャレンジド・スポーツ支援：アスリート個人・団体への奨励金、障がい者スポーツ普及のための体験教室や環境整備など
- ④ 文化・スポーツを通じた支援

⑱ 東北わくわくマルシェ×甲南女子大学×大阪ガス

産学連携企画「うんめえものを世界へ～感謝をこめておもてなし～」

私たちは、2011年末から現在にかけて岩手県釜石市や大槌町のコミュニティを中心とした支援活動に関わっています。現在は、企業と連携して「うんめえものを世界へ～感謝をこめておもてなし～」といった食を通じた復興支援にも力を入れています。（関西MyDogirls～Team南女～）

関西の自治体・大学・高校の取組

⑲ 立命館災害復興支援室

立命館災害復興支援室

東日本大震災における被災地域の復興支援を中心とした学生のボランティア活動など、学校法人立命館の災害復興支援の取り組み紹介。

⑳ 神戸学院大学

神戸学院大学

阪神・淡路大震災の復興を地域と共に歩む中で多くの事を学び、災害に強い街や人づくりの大切さを考え、負の遺産を教訓に2006年の「防災・社会貢献ユニット」から、2014年「社会防災学科」の開設へ発展させ、伝える・備える・生かす様々な取り組みを行っています。

㉑ 神戸防災技術者の会 (K-TEC)

東日本と共に学ぶ 神戸防災技術者の会 (K-TEC)

神戸防災技術者の会は阪神・淡路大震災の経験を伝承するために神戸市職員とOBで結成した団体です。東日本大震災後は被災地を訪ねて自治体職員他を激励、また、自治体職員を神戸に招いたセミナーで、復旧や復興について意見交換と交流をした様子を紹介しています。

㉒ 公益財団法人兵庫県住宅再建共済基金

フェニックス共済

阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえ、平成17年に兵庫県が全国に先駆けて創設した住宅再建共済制度は、本年9月で10周年の節目を迎えます。この間、16万2千戸の加入があり、台風や地震等の災害に対して、349件、565百万円の給付金を支給するなど被災加入者の生活・住宅復興等を支援いたしました。

㉓ 兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN(Leaders' Active Network)

兵庫県立大学学生 災害復興支援団体 LAN

原発事故に伴う放射線被災地である福島県相馬市周辺を拠点に、農業復興を目指す相馬市のNPO法人「野馬土」とともに、農業の復興、農作物への放射線風評被害の払拭、そして原子力災害被災地についての学びなどの活動を実施しています。

㉔ 兵庫県立舞子高等学校環境防災科

兵庫県立舞子高等学校環境防災科

舞子高校には全国の高校で唯一の防災専門学科「環境防災科」があります。災害時には様々なボランティア活動をしています。今回は東日本大震災ボランティア活動の様子をパネルで発表します。

特別企画のご案内 《ギャラリーB / KIITOホール》

15:30-17:00 ボランティア・ワールドカフェ 《ギャラリーB》

平成27年度
学生ボランティア促進
キャンペーン

～ 東北と関西の架け橋 ～

事前にご登録いただいた方を
対象としたイベントです

東日本大震災発生から5年目を迎えた今なお、被災地でのボランティア活動に対するニーズは存在します。カフェで仲間と語り合うような自由な雰囲気の中で意見交換をしながら、「東日本大震災の被災地の復興のためにできること」を、ボランティアを軸に考える企画です。

「新しい東北」SNS拡散キャンペーン 《KIITOホール（後方）》



「新しい東北」パネルと
一緒に写真を撮ろう！



SNSで拡散して
ください！

「新しい東北」つながる懇親会 《ギャラリーB》

17:30-18:30

- どなたでも無料でご参加いただけます。
- 以下のようなプログラムを予定しています！！

- ・東北わくわくマルシェによる料理提供
 - ・復興支援インターン（※）参加者による発表
 - ・ボランティア・ワールドカフェ参加者へのインタビュー
- （※）全国の大学から被災企業にインターンシップを行っている事業です。

お時間の都合の合う方は
ぜひご参加ください！

お知らせ

- ✓ Facebookを始めました！（<https://www.facebook.com/newtohoku/>）
協議会の活動情報や、復興庁・会員の皆様の支援制度・イベント情報等を発信していきます。情報をお持ちの方は、ぜひ事務局までご提供ください！
- ✓ 協議会ウェブサイトのリニューアル実施中！
より使いやすい、使いたくなるウェブサイトを目指し、デザイン等の変更と情報量の拡充を行っています。

お問い合わせ先

※ 当ミーティングの開催については、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

「新しい東北」官民連携推進協議会 事務局（復興庁）
（みずほ総合研究所 社会・公共アドバイザー一部内）

TEL : 03-3591-8773（平日9時半～17時半）

FAX : 03-3591-8777

E-mail : nt-info@mizuho-ri.co.jp

ウェブサイト : <http://www.newtohoku.org>

Facebook : <https://www.facebook.com/newtohoku>

新しい東北

検索

f いいね！